

## 1. 自己紹介

私は、「鹿児島県立農業大学校」2年生の脇田翔太（わきだしょうた）20歳です。地元の農業高校を卒業後、農業大学校に入学しました。

実家は、主に畜産（肉用牛）農家を営んでおり、小さい時から家業を手伝っていたこともあり、中学生の頃から家業を継ぐことを考えていました。



研修中の脇田さん

## 2. 研修に参加した理由

ここでは、農場で1年間、集中的に実習を受けることができるため、しっかりと知識・経験を得ることができます。また、家畜人工授精師、削蹄師といった牛に関する資格取得に加え、フォークリフト、大型特殊、溶接等の免許取得に向けた勉強ができるところに魅力を感じて入学しました。

## 3. 研修内容

講義では、牛の生育、繁殖等、全般的な内容に加え、経営に関する勉強も行っています。鹿児島大学農学部の教授や県研究機関の研究者による授業も行っており、2年間で肉用牛に関することを集中的に学んでいます。

実習では、基本的な飼育・繁殖等に関する実習に加え、最新のデジタル技術に触れることができます。

また、各自でそれぞれテーマを決めて、卒業研究・発表も行っています。夜中に分娩が始まったため、徹夜でその対応にあたり、そのまま翌日の授業を受けたり等、大変でしたが良い経験をしました。



機械作業の実習

## 4. 将来のビジョン

卒業後は、親元就農せず、他の法人で経験を積んで、5年後に実家で就農したいと考えています。その後は、学んだ知識やデジタル技術等を活用して、経営の規模を拡大していきたいと考えています。

## 5. これから就農を目指す方へのメッセージ

農業大学校では、農業に関する知識・技術、経営、資格等に関する勉強ができます。就農前に農業に関連する様々な資格を取得や、基礎的な勉強をしておいた方がいいと思います。

研修先：鹿児島県立農業大学校 担当者 都外川 総明

所在地及び連絡先 日置市吹上町和田 1800 電話：099-245-1071

e-mail：nodaikyo@pref.kagoshima.lg.jp